

合格へ信頼のこの1冊!

国試問題 542問 + 模擬問題 110問を収載

2014
年版

保健師 国家試験問題

解答と解説 「別冊 直前チェックBOOK」付

編集『標準保健師講座』編集室

最新問題「第99回保健師国家試験問題」およびその解答・解説を掲載しました。

模擬問題は、過去の出題傾向を分析して独自に作成。実際の国家試験と同様110問を掲載しており、最後の仕上げに役立ちます。

国家試験問題は542問を収載。

正確でわかりやすい解説が好評。「国家試験出題基準(平成22年版)」に沿って分類しているので、解いていくうちに大まかな出題傾向がつかめます。

解説には「標準保健師講座」の参照ページを表示。テキストとの連携で、さらに理解が深まります。



● B5 頁696 2013年 定価3,570円
(本体3,400円+税5%) [ISBN978-4-260-01763-3]
消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。



主な内容

- ◎ 覚えておきたい重要事項一覧
- ◎ 国家試験の形式と受験対策
- ◎ 国家試験問題年度別・教科別出題数一覧
- ◎ 保健師国家試験出題基準(平成22年版)

教科別

国家試験出題基準に示された教科ごとに次の3つの項目がそれぞれ並びます

- ★ 覚えておきたい重要事項
- ★ 第94～98回(2008～2012年)
保健師国家試験問題[解答と解説]

[新出題形式対応]
保健師国家試験模擬問題 解答と解説
2013年(第99回)
保健師国家試験問題 解答と解説



医学書院

保健師 2014 年版 国家試験問題 解答と解説



標準保健師講座の 該当ページがわかります



保健師国家試験問題

地域看護学 I

詳しくわかりやすい解説

1. 地域活動の強化
2. 健康的な公共政策づくり
3. 健康は基本的人権であること
4. 健康は生きる目的ではなく生活の資源であること
5. スローガンは「すべての人びとに健康を」であること

[2011年(97回)AM★☆☆]



アルマー・アタ
宣言

- 解説
- [1] × [2] ×
[3] × [4] ×
[5] × [6] ×
[7] × [8] ×
[9] × [10] ×
[11] × [12] ×
[13] × [14] ×
[15] × [16] ×
[17] × [18] ×
[19] × [20] ×
[21] × [22] ×
[23] × [24] ×
[25] × [26] ×
[27] × [28] ×
[29] × [30] ×
[31] × [32] ×
[33] × [34] ×
[35] × [36] ×
[37] × [38] ×
[39] × [40] ×
[41] × [42] ×
[43] × [44] ×
[45] × [46] ×
[47] × [48] ×
[49] × [50] ×
[51] × [52] ×
[53] × [54] ×
[55] × [56] ×
[57] × [58] ×
[59] × [60] ×
[61] × [62] ×
[63] × [64] ×
[65] × [66] ×
[67] × [68] ×
[69] × [70] ×
[71] × [72] ×
[73] × [74] ×
[75] × [76] ×
[77] × [78] ×
[79] × [80] ×
[81] × [82] ×
[83] × [84] ×
[85] × [86] ×
[87] × [88] ×
[89] × [90] ×
[91] × [92] ×
[93] × [94] ×
[95] × [96] ×
[97] × [98] ×
[99] × [100] ×

いずれも、オタワ憲章にかかわるものである。WHOは1986(昭和61)年、オタワ憲章で21世紀に向けた健康戦略としてヘルスプロモーションを提示し、ヘルスプロモーションを「人々が自ら健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである」と定義した。その活動方法として、①健康的な公共政策づくり、②健康を支援する環境づくり、③地域活動の強化、④個人技術の開発、⑤ヘルスサービスの方向転換、の5つを示した。
[1]と[2]はこれにあたる。

[3] 1978(昭和53)年のアルマー・アタ宣言は10項目からなっているが、その第1

新出題形式に 沿った 模擬問題で 力試し

覚えておきたい重要事項

- 運動指導**
- ・運動強度：長時間の運動を継続しながら行う全身運動のことをいう。
 - ①強度：有酸素運動、無酸素運動、混合運動の3種類。無酸素運動は短時間、全身筋力の向上、などがある。
 - ②強度：低強度・中強度・高強度・超高強度の4段階に分けられる。
 - ③計算式：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ④計算式：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑤計算式：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑥計算式：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑦計算式：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑧計算式：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑨計算式：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑩計算式：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。



- 有酸素運動**
- ・運動強度を高める要素
 - ①運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ②運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ③運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ④運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑤運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑥運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑦運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑧運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑨運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑩運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。

- 無酸素運動**
- ・運動強度を高める要素
 - ①運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ②運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ③運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ④運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑤運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑥運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑦運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑧運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑨運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑩運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。

- 運動強度**
- ・運動強度を高める要素
 - ①運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ②運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ③運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ④運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑤運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑥運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑦運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑧運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑨運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。
 - ⑩運動強度：運動強度は、運動強度 = 運動強度 × 体重(kg) × 時間(h) × 60分 × 100で計算される。

持ち歩けるミニサイズの別冊付録 直前チェックBOOK



試験直前の チェックに 便利

覚えておきたい 重要事項

※サンプルページは制作中のものです



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

【販売部】TEL: 03-3817-5657 FAX: 03-3815-7804

E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp 振替: 00170-9-96693

携帯サイトはこちら

